



〒915-0823  
 福井県越前市本町10-2  
**親縁山 大寶寺**  
 TEL/FAX (0778) 22-1682

### 永代経法要のご案内

6月21日(土)、22日(日)

6月に入って曇りや雨がちのちが増え、境内の紫陽花も日に日に大きくなってきました。いよいよ梅雨も本番になりそうです。さて、来る6月21日と22日の両日永代経の法要を営みます。この法要は未永く故人の遺徳をしのび、その御霊の冥福を祈る法要です。大寶寺では毎年6月の下旬に実施しています。

あらかじめ各家の供養の時間をお知らせしておりますが、なにぶん限られた時間で多くの御霊の供養を致しますので、時間がずれることもございますが、ぜひとも本堂にお参りいただき、堂内の施餓鬼壇にてお焼香をして頂きたいと思っております。

本年はご案内の通り、伊勢大神楽の山本喜一郎氏の墓碑を修復いたしましたので、十二時半より墓前にて開眼法要を営みたいと思っております。また、その後、午後一時より雨が降らなければ境内にて、雨天の場合は

平成二十年 永代経法要

○六月二十一日(土)  
 午前十時半～十二時頃 施餓鬼  
 十二時 昼食  
 午後一時半～二時半頃 施餓鬼

○六月二十二日(日)  
 午前十時～十二時頃 施餓鬼  
 午後十二時 昼食  
 午後一時 山本氏墓碑開眼法要  
 午前一時半～三時 神楽奉納

昨年は雨のため本堂内でお神楽を舞っていたけませんでした。今年は好天になってほしいものですね。

本堂内にて国指定重要無形民俗文化財である山本源太夫一座のお神楽の奉納を一時間あまりお楽しみ頂けます。お子さまやご近所の方々をお誘い合わせてお越し下さい。



### 浄土宗平和協会声明「チベットに平和を」(抜粋)

平和と共生を追求する浄土宗平和協会は、チベット仏教の聖地であるラサ市をはじめ中国各地において、僧侶・市民と治安部隊の衝突により多くの死傷者が出ている深刻な事態に対し、深い憂慮を表明します。この衝突によって命を喪い、また傷ついた人々に対し、悲しみを同じくしております。非暴力を標榜する浄土宗は、いかなる理由があろうとも武力をもって問題の解決をはかることを否定します。

仏教の祖釈尊は「人はすべて暴力におびえる。すべての者にとって生命は愛しい。わが身にひきあてて殺してはならない。殺させてはならない」(法句経 130)と教えています。

日本政府におかれましても関係諸機関とはかり解決への努力を続けられることを念願するものであります。

私たち浄土宗の僧侶、信徒は、暴力のない、人間同士が信じ合い、愛し合い、助け合う共生の世界が一日も早く来るように望んでやみません。

浄土宗平和協会



## 浄土宗平和協会



浄土宗では世界の平和の推進のために平成2年、浄土宗平和教会(Jodo Shu Peace Association)を設立しました。これは、世界平和活動を積極的に推進するNGO(国際協力のための市民団体)を支援するための募金活動、国内にて平和活動、環境保護活動、福祉活動など公益のために活動をしている浄土宗寺院や僧侶の顕彰、あるいは、東京都内に私費留学している外国人留学生に図書を贈呈するブックギフトなどを通して平和な世界の実現に貢献しようという組織です。

### 浄土宗平和協会賛助会員募集

- 檀信徒会員 年間 2,000円(一口)
- 寺院以外の法人会員 年間 10,000円(一口)

下記の所にお問い合わせ頂ければ資料等お送りします。

605-0062 京都市東山区林下町400-8  
 浄土宗人権同和室  
 TEL 075-525-0484 FAX 075-531-5105

### ミャンマー・サイクロン災害及び中国・四川省大地震災害緊急救援募金について

浄土宗平和教会ではミャンマーサイクロン被害および中国・四川省大地震救援のため緊急救援募金を開始しています。皆さまの浄財を直接被害者の方々に手渡すことができる団体である「世界仏教徒連盟(WFB)国際救援基金」、「仏教救援協会」などを通じての支援を計画しています。皆さまからの暖かいご支援をお願い申し上げます。

**6月21、22日永代経法要の両日、大寶寺の本堂内に募金箱を設置します。浄財のご喜捨のほどよろしくお願い致します。**

### 毛虫警報発令!



大寶寺の観音堂の前のお茶の葉についた茶毒蛾。他に椿、サザンカを好みます。アメリカシロヒトリは柿、桜、梅、ハナミズキなどに付きます。

今年もまた毛虫が元気になる季節がやってきました。中でも、うかつに触れると強い痒みをとまなう発疹がでる茶毒蛾、柿や桜の木を丸坊主にしてしまうアメリカシロヒトリが圧巻です。6月頃と8月頃二度発生するのですが、一回目に駆除することで二回目はずいぶん少なくなるようです。小さいときは群れをなします。葉っぱごと切り取って燃やせるゴミとして処分するのが手取り早い方法です。仏教は殺生を戒めるのですが、あまり広がりすぎないように早めに退治しましょう。

トピックス

前知恩院門跡

中村康隆殿下ご遷化 5月8日

先の知恩院門跡で大寶寺の老僧が執事長としてお仕えした中村康隆上人が、老衰のため5月8日、百二歳で御遷化なされました。

密葬はご自坊である静岡県清水市にある實相寺にて5月12日に行われました。老僧は葬儀の参列は体の負担が大きいのことで、10日に弔問に伺いました。なお、浄土宗と知恩院の合同葬が6月11日の午後1時から知恩院の御影堂にて執り行われ参列することになっています。

養徳寺鐘樓堂落慶

5月10日(土)

越前市柳町、大寶寺南隣の真宗本願寺派養徳寺にて5月10日、鐘樓堂の落慶法要がありました。檀家の人が鐘をつく間、大勢のお稚児さんが、陽願寺から本町の表通りを歩いて、養徳寺まで練り歩き、大変賑わいました。



大寶寺総代会 5月16日(金)

大寶寺書院にて5月16日午後7時より、総代3名、住職、老僧、若、また、越前市まちづくりセンターの玉村、中島両氏の参加のもとに大寶寺役員会が開かれました。協議事項は次の通りです。  
一、大寶寺の駐車場を観光用駐車場として利用させて欲しい一、山本喜一郎氏墓碑改修について

現在、越前市では町中を整備して観光や居住の推進を図っています。その一環として、大寶寺の駐車場を観光客に開放してもらえないかとの依頼がありました。墓参りなど参詣者に迷惑をかける恐れもあり、大型バスなどあらかじめ申込みのあった場合に限り駐車場を認めてもよい、という結論になりました。

この件については今後、詳細について協議を継続する予定。また、山本喜一郎氏の墓碑改修について協議しました。

平和町太子堂の祭り

5月18日(土)



大寶寺の西隣、平和町にある聖徳太子を祀った太子堂にて祭礼がありました。午前中は大寶寺住職が導師を勤め法要が営まれ、夕方には大勢の平和町区民が参加して歌謡ショーが繰り広げられました。

本堂外縁補修

4月下旬、本堂東角の外縁の傷みが激しいため古いトタン板を外して補修の上、新しい銅板に張り替えました。同時に階段の縁も銅板で補修しました。



濁中蓮華

濁った世間に咲く蓮の花の意

道具供養

今年4月6日、越前市京町の千代鶴神社にて武生地区の刃物卸商の組合が主催して第一回刃物・金物供養祭が開催された。満開の桜のもと組合員や市民が参加して越前打刃物の礎を築いた千代鶴国安の遺徳を讃え、不要になった包丁やハサミ、鋸や鎌、鍋などの供養が行われた。

ところで供養とは辞書によると、死者の冥福を祈って法要を営むこと、とある。

研ぎ澄まされた刀や包丁、ハサミ等の刃物は凄みがあり、崇りや災いを恐れる気持ちはわからないでもない。しかし、冥福を祈るといふことになると、大いに違和感を感じる。確かに、刃物や針など不要になったものを回収して特定の日に安全に処分することには意味がある。しかし、それだけなら僧侶や神主の手を煩わす必要はない。なぜ道具をまるで生き物であるがごとく宗教的儀式で供養するのだろうか。

浄土宗の本山、芝の増上寺ではハサミ供養が、伊勢神宮では着物供養、信楽では陶供養、宮島ではしゃもじ供養、城崎温泉では温泉客が使い古した下駄の供養が行われている。また、小浜にある箸のふるさと館 WAKASAでは8月4日に箸供養の神事が行われるなど、仏教、神道の別を問わず全国各地で道具に対する供養が行われている。すべてが古くからの行事というわけではない。多くは地域の産業に関連した観光や地域おこしのイベントである。ただ、いずれもが、道具に対する感謝の気持ちを表すことを目的としていることに注目したい。

道具を作るにはさまざまな原材料が必要となる。それらは人の手をへて、職人に届く。職人は先祖から伝わった智慧や用具を使い、加工する。いつその改良を試みることもある。もちろん、どんなにすぐれた道具でも使い手がいなければ無用の長物だ。良い作り手と、良い使い手がいてこそ、道具が生きる。そのような関係をしっかりと見すえ、そのおかげに感謝せよと祖先は説く。この考えには、此れあれば彼れあり、此れ生ずるがゆえに彼れ生ず、此れなければ彼れなし、此れ滅するがゆえに彼れ滅する、という仏教の縁起の法が見てとれる。

ところで、このようにいうと口さがない現代人の中には、壊れてからでは遅い、使える間に感謝すべきだ、と言う人がいよう。もったいな意見である。しかし、あつてあたりまえのものが、なくなつて、初めてそのありがたさに気づく、という人間の性をかみれば、使えなくなつてから供養することには大きな意味があるとも考えられる。

ともあれ、武生の刃物・金物供養祭りは来年も実施予定とのこと。みなさんも参加なされてはいかがか。

合掌

【供養】デジタル大辞泉の定義は次の①と②

- ①死者の冥福を祈つて法会を営むこと。また、開眼供養・鐘供養・経供養
- ②仏・法・僧の三寶や死者に、供物を供すること。また、その法会。

次の項目③を付け加えることを提案したい

③死者もしくは、故障、破損、あるいは不要になつた道具などに思いをめぐらし、そのおかげに感謝すること。また、そのための儀式。さらに、そのことを通じて、今を感謝して生きることを等しい。